

服薬のしおり

患者さんおよびご家族のみなさまへ

ラミクタール錠を服薬するにあたって

ラミクタール錠を安全に服薬していただくために、
処方を受けた方は、必ずこの冊子を最後までお読み
ください。

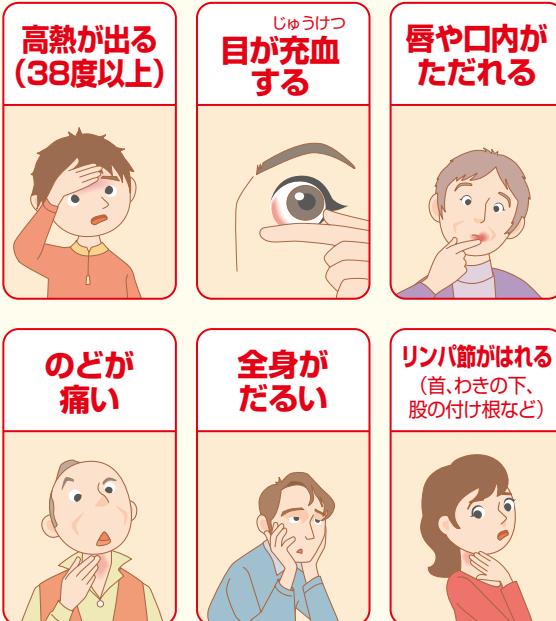
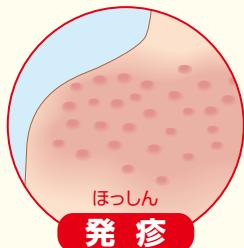
てんかん治療薬・双極性障害治療薬 「ラミクタール錠」を服用される 患者様とご家族の皆様へ

ラミクタール錠の服用中に、重篤な皮膚障害(広範囲にわたり赤くなり、やけどのような水ぶくれ、皮膚のはがれ、ただれなどが全身に広がる)が現れることがあります。副作用が疑われた場合には早期に適切な治療を受けてください。

- 下記のような症状が現れた場合には、すぐに医師・薬剤師に相談してください
- 発疹はっしん
- 発熱(38度以上)
- 唇や口内のただれ
- 目の充血じゅうけつ
- のどの痛み
- 体がだるい
- リンパ節(首、わきの下、股の付け根など)のはれなど
- 医師や薬剤師に相談する際は、ラミクタール錠を服用していることを伝えてください
- 医師からラミクタール錠の服用を中止するよう指示された場合は、すぐに中止してください



ほっしん 発疹に加えて、下記症状のいずれかが現れた場合、
じゅうとう 「重篤な皮膚障害」となる可能性があります！



お薬は必ず医師・薬剤師の指示通りに飲んでください

- 自己判断でお薬を中止したり、お薬の量を変えたりしないでください。
- 医師からラミクタール錠の服用を中止するよう指示された場合は、すぐに中止してください。自己判断でお薬の服用を再開しないでください。
- 医師から皮膚科への受診を指示された場合は、皮膚科へ受診してください。

ラミクタール錠の服用方法

Q

A

ラミクタールを飲む上での注意事項

- 医師から指示された以上の量を飲まないでください。
- 体調がよくなつたとしても、お薬を飲むのを自己判断でやめないでください。お薬を飲むのをやめると症状が悪化してしまう可能性があります。
- 自己判断でラミクタールの服用を中止しないでください。やむを得ない理由で飲むのをやめてしまった場合、必ず医師に相談してください。自己判断でお薬の服用を再開しないでください。
- 医師からラミクタールの服用を中止するよう指示された場合は、すぐに中止してください。

Q

A

ラミクタールを少しずつ増やしていくのはなぜですか？ また最終的な量が決まるまでに どのくらいの期間がかかるのでしょうか？

ラミクタールは、患者さんの体質や病気の症状、飲んでいるお薬によって、効果や副作用の出かたが違ってきます。そのため、患者さんの安全性を考えて、ごく少量から始め、効果の出かたと副作用のかね合いをみながら、適切な量を慎重に決めています。
最終的な量が決まるまでの期間は、数週間から数ヵ月ほどです。
短時間で量を増やすと、重篤な発疹が出やすいことがわかっています。あわてず、じっくりとお薬とつき合ってください。

Q3 飲み忘れたらどうしたらよいでしょうか？

- A3
- 決して2回分を一度に飲まないでください。
 - 飲み忘れに気づいたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。
 - 数日間飲み忘れている場合は、自己判断で服用を再開せず医師に相談してください。

Q4 指示された量より余分に飲んでしまったときは、どうしたらよいでしょうか？

- A4
- あわてず、まずは様子をみてください。
 - 特に変わったことがなければ、そのまま医師の指示通りに飲み続けてください。もし何か変わったことがあれば、すぐに医師や薬剤師に連絡してください。
 - 特に変わったことはなくても、心配な場合は、いつでも医師や薬剤師に相談してください。

Q5 ほかのお薬と併用しても大丈夫ですか？

- A5
- ほかのお薬（市販のお薬も含む）を一緒に飲む場合は、あらかじめ医師または薬剤師に相談してください。また、何か別の病気でほかの病院にかかる場合は、ラミクタールを飲んでいることを担当の医師に伝えるか、このお薬を持っていて医師に見せてください。
 また、特に経口避妊薬とはお互いに影響を与え合うため、経口避妊薬を飲んでいる方は、お薬の量を調節する必要があります。必ず医師に申し出てください。

Q6 妊娠中の人にはラミクタールを飲んでも大丈夫ですか？

- A6
- 妊娠中の人や、妊娠する可能性のある人は、必ず、医師に伝えてください。医師が、患者さんの病気の状態や全身的な健康状態などを総合的に判断して、このお薬を飲んでも大丈夫かを決定します。

ラミクタール錠の副作用

Q 1 ラミクタールによくみられる副作用には、どのようなものがありますか？

A 1 ラミクタールの主な副作用は、眠気、めまい、肝機能障害、発疹かんきのう ほっしんです。

また、物が二重に見えます。

Q 2 重大な副作用にはどのようなものがありますか？

A 2 次のような重大な副作用が現れることができます。

- 重篤な皮膚障害じゅうとく かひんしょうやう
- 薬剤性過敏症症候群やくざいせい かびんしようようこうぐん (発疹、発熱、リンパ節のはれ、顔のむくみ、血液障害、肝臓障害など)
- 再生不良性貧血、汎血球減少などさいせい ふりよせいかひんけつ はんけつきゅう
- 肝機能障害かんきのう おうじゆう
- 無菌性髄膜炎むきんせい いもくえん (項部硬直、発熱、頭痛、恶心・嘔吐)
- または意識混濁などこんだく
- 血球貪食症候群けつきゅううんしょくしょうやう

このほかにも、ラミクタールを飲んでいる間に何らかの体調の変化に気づいたときには、医師または薬剤師に相談してください。

Q3 重篤な皮膚障害に発展するかどうかはわかりますか？

A3 どんな発疹が重篤な皮膚障害になるかは予測できません。発疹に加えて次のような症状が現れた場合は「重篤な皮膚障害」になる可能性があります。

発疹や、高熱が出る(38度以上)、目が充血する、のどが痛い、唇や口内がただれる、全身がだるい、リンパ節がはれる(首、わきの下、股の付け根など)などの症状が出たら、直ちに医師または薬剤師に相談してください。

Q4 どのような場合に重篤な皮膚障害になりやすいですか？

A4 皮膚障害が現れる率が高くなったり、発疹が悪化する危険性が高くなるのは、次のような場合です。

- 急にお薬の量を増やしたり、適切な量以上に飲んだ場合
- 小児の方
- バルプロ酸ナトリウム(デパケン、デパケンR、セレニカRなど)というお薬を飲んでいる場合
- 薬疹の既往のある方
- お薬を飲み始めて8週以内

Q5 副作用が出たときの対処法を教えてください。

A5

- 前述のQ2「重大な副作用」に出てきたような副作用と思われる症状や、発疹、高熱が出る(38度以上)、目が充血する、のどが痛い、唇や口内がただれる、全身がだるい、リンパ節がはれる(首、わきの下、股の付け根など)などの症状が現れた場合は、すぐに医師または薬剤師に相談してください。
- 医師から皮膚科への受診を指示された場合は、皮膚科へ受診してください。

Lamictal

企画・発行
グラクソ・スミスクライン株式会社

NP-JP-LMT-PINF-210001-P2310N
改訂年月2023年10月 (増刷年月2025年9月)